

学校名	西小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 494名		
(1) テーマ 稲作りに地域の人々の応援のもとに取り組み、収穫のお祝いをしよう。 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 5年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい ・田植えから収穫・収穫のお祝いまでを自分たちの体を通して取り組む。 ・稲の生長を観察するとともに、日本の農業との関わりを知る。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・子どもたちが実際に関わるのは、田植え・草刈り・稲刈り・脱穀であり最後に収穫祝いを支援の方々を招いて行っている。 ・稲の生長の観察を理科で、その時々々の活動の様子の作文を国語で、日本の農業との関わりを社会で、稲刈りの様子の絵を図工科で扱った。 時数(23時間)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・上田市から提供されている田んぼを使い、支援の方々の協力のもとに行っている。 ・実際の指導は学年で、近所の方や支援してくれる方々へのお礼を校長、予算や他団体との細かい折衝を事務と、全校体制で行っている。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・総合学習として23時間を当て、他教科での学習はその教科としてカウントしている。 ・学年だよりや学級からのお知らせとして活動の様子を知らせ、準備品の用意や技術的なアドバイスの応援をもらうようにしてきた。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・子どもたちが安全に配慮し、その時々々の作業を一生懸命楽しくこなしてくれることが大切と考えてきた。 ・今年度、通知票など評価は義務づけていないが、目を引く活動については、特記事項として学級経営や子供の指導に生かしている。			
(8) 成果と課題 ・市街地の学校として稲作りに携わった経験のほとんどない子どもたちが貴重な体験をした。 ・ある程度ルールが敷かれている学習であるので、各作業に対しての子どもたちの意識のつながりと意欲を大切に考えたい。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題